

解釈別表第十 雑音の強さ 見直しWG1 審議結果報告

2021年 10月6日

◆ 解釈別表第十見直し検討WG1の経緯

➤ 2020年12月～2021年9月の間、合計4回の審議を実施

- 第1回：2020年12月 8日 概要説明～検討課題の整理
- 第2回：2021年 2月26日 改正案審議
- 第3回：2021年 6月 2日 改正案審議、追加議題検討
- 第4回：2021年 9月 2日 第1次改正案決議
 - －エル・イー・ディー・ランプの適用規格改正
 - －測定に関する規定の追加

※次ページ参照

➤ 今後の計画

- エル・イー・ディー・ランプ以外の品目の改正案作成
- 広告灯及び、直流電源装置の改正案作成

※別表第十二では適用規格が複数に区分されるため、すべてのWGでの審議完了後にあわせて改正予定

◆ 改正（案）の内容

➤ 別表第十 適用章別表の改正

- 「エル・イー・ディー・ランプ」について、改正後の適用規格をJ55015とする
- 「直流電源装置」及び「広告灯」については、改正後の適用規格が複数になるため、その他のWGによる審議完了時にまとめて改正提案を実施する。
- 「エル・イー・ディー・ランプ」以外の品目については、WG1において継続審議とする。

➤ 別表第十 1.2 適用方法の改正

- 電安法適合済み光源使用機器の取り扱いを追加改正
 - 最新版のCISPR15:2018に規定されている、「受動機器」としての取扱いを取り入れる
安定器内蔵形ランプを使用し、その他に能動部品を用いて電源電圧等の制御を行わないものにあつては、試験することなくこの規格の要求に適合しているとみなす（CISPR15:2018, 6.2 Passive EUT 抜粋和訳）
- 引掛けローゼットに取り付けられる機器の、雑音測定時の取扱いを追加改正
 - 現在の第7章に規定されている、「家庭用つり下げ型蛍光灯器具」の取扱いを、現状に即した形に改正
現行の、「家庭用吊り下げ型蛍光灯器具」にあつては、接地端子のあるものであつても、接地しない」という規定であるが、現在は、「家庭用吊り下げ型蛍光灯器具」という単独の用品名で区分することは適切でなくなっており、機器設置形態として、「引掛けローゼット」を用いて設置するものを対象とするよう改正する

⇒ 詳細、次ページ

■別表第十 改正（案）

改 正 後			現 行		
第1章 共通事項 1 適用区分 1.1 適用章別 別表第八 光源及び光源応用機械器具			第1章 共通事項 1 適用区分 1.1 適用章別 別表第八 光源及び光源応用機械器具		
電気用品名等		適用章別	電気用品名等		適用章別
政令品名	省令における細部品目等		政令品名	省令における細部品目等	
エル・イー・ディー・ランプ		J55015	エル・イー・ディー・ランプ		7
1.2 適用方法 1.1の表に記載のない品目（省令における細部品名等を含む。）、多機能を有する機器、機器の構造上表の適用章別が適切でない場合は、雑音の発生原因が類似の機器の適用章別及び次の取扱いを基に判断する。ただし、雑音の発生原因がないもの（抵抗負荷、誘導負荷、白熱電球並びに変圧器のみ又は、これらの組み合わせのみで構成されるものであって、自動制御機能がない電気用品に限る）にあつては、適用章別にかかわらず技術基準に適合しているものとみなす。また、技術基準に適合している蛍光ランプ（安定器内蔵形）または、エル・イー・ディー・ランプを使用し、その他に能動部品を用いた制御を行わないものにあつては、技術基準に適合しているものとみなす。			1.2 適用方法 1.1の表に記載のない品目（省令における細部品名等を含む。）、多機能を有する機器、機器の構造上表の適用章別が適切でない場合は、雑音の発生原因が類似の機器の適用章別及び次の取扱いを基に判断する。ただし、雑音の発生原因がないもの（抵抗負荷、誘導負荷、白熱電球並びに変圧器のみ又は、これらの組み合わせのみで構成されるものであって、自動制御機能がない電気用品に限る）にあつては、適用章別にかかわらず技術基準に適合しているものとみなす。		
(1)～(4) 略			(1)～(4) 略		
(5) 引掛けローゼットを用いて天井に取り付ける構造のものにあつては、接地端子のあるものであっても接地しない。					